



## みんなのできる 地球温暖化防止活動

— 食欲の秋に食品ロスを考える —

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

(特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク)

※マークは県の地球環境保全のキャラクターです

### ■食品ロス

秋が深まってきました。異常に発達した台風や、サンマの記録的な不漁のことを耳にすると、心穏やかではないです。そうは言ってもやはり、秋は食欲の秋です。

しかし……。 「食品ロス」のことが今、問題になっています。食品ロスとは、食べることができずに、いろいろな理由で捨てられてしまう食品のことです。日本では、年間約643万トン（家庭から約291万トン、事業者から約352万トン）も発生しています。（2016年度推計）

### ■10月は食品ロス削減月間です

2019年5月に食品ロス削減推進法が成立し、10月を「食品ロス削減月間」と定められました。食品（食べ物）と地球温暖化には深い関係があります。

食べ物を作る時には、水やエネルギーをたくさん

使用します。温室栽培のキュウリやイチゴを想像してみてください。更に、スーパーにはたくさん外国産の食品が並んでいます。船やトラックで運ばれて来ます。その上、廃棄された食品は収集・運搬・焼却のためにたくさんのお金が掛ります。

### ■ヨークベニマルの取り組み

株式会社ヨークベニマル取締役常務執行役員総務室室長兼CSR推進リーダーの三澤隆さんに、お話を聞きしました。「食品ロスを減らすために、出来る限り小割（小さなパッケージ）で販売しています。買い過ぎると、どうしても廃棄する量も増えますからね」とのことです。たくさん売ろうではなく、お客様の家族構成などにあつた適切な量を買っていただくという姿勢です。「食品を販売する者としての責任です。」

### ■みんなのできる地球温暖化防止活動

「店内で、季節に合ったメニューの提案をしています。」三澤さんによれば、メニューを組み立てて計画的に食品を購入すると、食品ロスをかなり少なくすることが出来るということです。またヨークベニマルでは、POS管理システムで売れ残りをゼロにして、事業者としても食品ロスゼロを目指す取り組みをしています。

(連絡先) <http://fukushima-ondankaboushi.org/>